

チュートリアルA-2

臨床検査項目分類JLACⅡ 基礎から最新動向まで

2025年11月12日(水) 10:00~11:30

アクリエ姫路 4階406 F会場

## 医療機関における導入方法

堀田 多恵子(国際医療福祉大学 成田病院)

COI（利益相反）開示  
発表者名：堀田多恵子

発表に関連し開示すべき  
COI関係にある企業等はありません。

### 3文書6情報の概要

3文書	No	文書項目	概要	記述仕様	宛先指定	添付	電子署名	保存期間
	1	健康診断結果報告書	特定健診、事業主健診、学校職員健診、人間ドック等を対象	HS037 健康診断結果報告書 HL7 FHIR記述仕様	なし	可能	不要	オンライン資格確認等システムに5年間保存
	2	診療情報提供書	対保険医療機関向けの診療情報提供書を対象	HS038 診療情報提供書 HL7FHIR記述仕様	必須	可能	任意	電子カルテ情報共有サービスに6か月間保存。 但し、紹介先医療機関等が受領した後は1週間程度後に自動消去。
	3	退院時サマリー	退院時サマリーを対象 ※診療情報提供書の添付(任意)としての取り扱い	HS039 退院時サマリー HL7FHIR記述仕様	なし	可能	不要	

6情報	No	情報項目	概要	対象となるFHIRリソース	主要コード	長期保管フラグ	未告知/未提供フラグ	顔リーダー閲覧同意区分	保存期間(電カル共有)	保存期間(オン資)
	1	傷病名	診断をつけた傷病名	Condition	レセプト電算処理マスターの傷病名コード <b>ICD10対応標準病名マスターの病名管理番号</b>	あり	あり	傷病名+手術情報		5年間分
	2	感染症	検査した梅毒STS、梅毒TP、HBV(B型肝炎)、HCV(C型肝炎)、HIVの結果	Observation	臨床検査項目基本コードセット内にある <b>JLAC(10/11)</b> コード	あり	—	感染症情報		5年間分
	3	薬剤禁忌(アレルギーによるもの)	診断をつけた薬剤禁忌情報(医薬品(ハイリスク))	Allergy Intolerance	<b>YJコード</b>	あり	—	電子カルテ情報	オン資格システムにデータ移行した時点から1週間程度後に消去	5年間分
	4	アレルギー	診断をつけたアレルギー情報(食品・飲料、医薬品(ハイリスク除く)、環境、生物学的アレルギー等)	Allergy Intolerance	<b>J-FAGYコード</b> テキスト (J-FAGYで表現できないものはテキスト入力する)	あり	—			5年間分
	5	検査	臨床検査項目基本コードセット(生活習慣病関連の項目、救急時に有用な項目)で指定された43項目の検体検査結果	Observation	臨床検査項目基本コードセット内にある <b>JLAC(10/11)</b> コード	—	—			1年間分 もしくは 直近3回分
	6	処方	※直接登録は行わない (文書から抽出した処方を取り扱う)	Medication Request	<b>YJコード</b>	—	—			100日間分 もしくは 直近3回分

## 6 情報：検査情報（救急、生活習慣病）の対象になる 43項目＋感染症項目

標準化を進める文書以外のデータ		生活習慣 病関連の 項目	救急時に 有用な 項目	(参考) 特定健診 項目
基本情報				
傷 病 名	既往歴		○	○
	現病名		○	
アレルギー情報			○	
薬剤禁忌情報			○	

臨床検査項目基本コードセット		生活習慣 病関連の 項目	救急時に 有用な 項目	(参考) 特定健診 項目
基本情報				
感 染 症 情 報	梅毒STS (RPR法)		○	
	梅毒TP抗体		○	
	HBs		○	
	HCV		○	
	HIV		○	

※ 記号は、各データセットにおいて「○：必要」、「●：適宜実施」とされているものを記載。

※ 各項目のデータが記録された日付等もあわせて示すことが必要と想定。

臨床検査項目基本コードセット	生活習慣 病関連の 項目	救急時に 有用な 項目	(参考) 特定健診 項目
生化学的検査			
総蛋白 (TP)	○	○	
アルブミン	○	○	
クレアチンキナーゼ (CK)		○	
AST (GOT)	○	○	○
ALT (GPT)	○	○	○
LD (LDH)		○	
アルカリフォスファターゼ (ALP)		○	
γ-GTP (GGT)	○	○	○
コリンエステラーゼ (ChE)		○	
アミラーゼ (AMY)		○	
クレアチニン (Cre)	○	○	●
シスタチンC	○		
尿酸 (UA)	○		
尿素窒素 (BUN)	○	○	
グルコース (血糖)	○	○	○
HbA1c (NGSP)	○	○	○
中性脂肪 (TG)	○		○
総コレステロール (T-CHO)	○		
HDL-コレステロール (HDL-C)	○		○
LDL-コレステロール (LDL-C)	○		○
ナトリウム (Na)		○	
カリウム (K)	○	○	
クロール (Cl)		○	
カルシウム (Ca)		○	
総ビリルビン (T-Bil)		○	
直接ビリルビン (D-Bil)		○	

臨床検査項目基本コードセット	生活習慣 病関連の 項目	救急時に 有用な 項目	(参考) 特定健診 項目
血液学的検査			
血算-白血球数		○	
血算-赤血球数		○	●
血算-ヘモグロビン	○	○	●
血算-ヘマトクリット			●
血算-血小板数		○	
活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)		○	
プロトロンビン時間		○	
FDP			
Dダイマー (DD)		○	
尿検査			
尿蛋白	○		○
尿糖	○		○
尿潜血	○		
蛋白/クレアチニン比 (P/C比)	○		
アルブミン/クレアチニン比 (A/C比)	○		
内分泌学的検査			
脳性Na利尿ペプチド (BNP)		○	
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)		○	
免疫学的検査			
C反応性蛋白 (CRP)		○	
血液型-ABO		○	
血液型-Rh		○	
項目数	22	37	

# 臨床検査標準コードには JLAC10 とJLAC11とがある

---

JLACは、日本臨床検査医学会 項目コード委員会が作成・管理を行っている臨床検査項目分類コードである

- ・**JLAC10** は、医療情報システムの普及や**医療機関同士の情報交換を円滑に行うため**、医療情報システムが標準的に使用する検査項目コードとして設定され、1997年に第10回改訂として公開され、保守が継続されている。**JLAC10コード表131版（2025年6月版）**
- ・**JLAC11** は、**検査データの2次利用に有効に利用できることを主目的にした**新たな臨床検査項目分類コードであり、2019年に要素別コード表を公表し、2024年3月にJLAC11コード一覧(検査試薬\_JLAC10コード付帯) が公開された。**JLAC11コード表23版（2025年8月版）**

# 2025年7月1日、JLAC11を厚労省標準規格と位置付ける

## 電子処方箋・電子カルテの目標設定等の概要②

### 3. その他（医薬品・臨床検査コードの整備）

- **医薬品コード**については、現在、様々な場面で様々なコードが活用されているが、各コードの関係性が整理されておらず、トラブルの発生や現場負担等につながっている。そこで、**電子処方箋トラブルの再発リスクの低減、医薬品のトレーサビリティの強化等を目的として、令和8年度から各医薬品コードの関係性を国が明らかにする等の対応を行う。**
- **臨床検査コード**については、厚労省標準規格（JLAC10）の使用が推奨されているが、実際にはコードが統一されていないため、システム間での情報連携が容易でなく、現場のコスト増大の一因になっている。  
そこでJLAC10を改善した**JLAC11を厚労省標準規格として、電子カルテ等の標準仕様で統一的な検査コードとして位置付ける。**

「医療DX令和ビジョン2030」厚生労働省推進チーム  
第7回 2025年7月1日（令和7年7月1日）

(1) 医療DXの進捗状況について

(2) 電子処方箋・電子カルテの目標設定等について

# JLAC11（臨床検査項目分類コード）

---

JLAC10を改訂した17桁のコード体系

①測定物コード ②識別コード ③材料コード ④測定法コード ⑤結果単位コード

(1) 測定物コード5桁

(2) 識別コード4桁

(3) 材料コード3桁

(4) 測定法コード3桁

(5) 結果単位コード2桁

医療DXや臨床検査データの利活用のための標準コード



# コーディング・マッピング・ガバナンス

---

## コーディング（付番）

臨床検査要素にJLAC IIのコードを付けること



## マッピング（採番）

施設のローカルコードとJLAC IIコードとを突合させること

## ガバナンス（整合）

JLAC IIコードに紐づいた共有データを整合させること



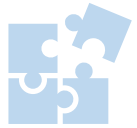
## JLACⅠⅠに比したJLACⅠⅠの利点

---

- JLACⅠⅠは検査データの二次利用に適したコード体系である
- JLACⅠⅠは体外診断用医薬品の粒度であるため、測定原理が同じで反応性が異なる場合をコードで分離することができる
- 単位そのものがコードに含まれる

# 医療機関における導入方法

---



検査室における採番



モデル地区における問題の発見



# JLAC11は日本臨床検査医学会HPに掲載されている



検索

会員手続

会員マイページ

アクセスマップ サイトマップ お問い合わせ

事業内容

学術集会  
支部活動

機関誌・  
ガイドライン

学会費  
スロジェクト

委員会

専門医・  
管理医制度

賛助会員

関連学会  
団体

Q&A

The 72nd Annual Meeting of Japanese Society of Laboratory Medicine

## 第72回日本臨床検査医学会学術集会

2025.8/28(木)~31(日) 幕張メッセ

大会長 大西 宏明 杏林大学医学部臨床検査医学教室

副大会長 安戸 裕貴 杏林大学医学部臨床検査医学教室

事務局長 宮城 博幸 杏林大学医学部付属病院臨床検査部

楽しく学ぼう臨床検査

会員の方へ

学術集会

第72回学術集会（千葉）

会期：2025年8月28日(木)~8月31日(日)

重要

国際誌 Laboratory Medicine  
International 投稿システム運用開始の  
お知らせ

重要

機関誌の海外発送料についてのご案内

重要

会員証を発行されていない方へ：会員証  
発行のための顔写真の提出について

PICK UP

- 最新の「学術集会」
- 機関誌
- 臨床検査項目分類コード
- 理事会だより
- 学術推進プロジェクト



## 臨床検査項目分類コード第11版（JLAC11）

### (1) 要素別コード表の読み方

タイトル	最新更新日	版数	ファイル名
1. JLAC11_概要	2025/04	2	<a href="#">jlac11overview.docx</a> DOC
2. JLAC11_要素別コード表の読み方	2025/04	7	<a href="#">jlac11element.zip</a>
3. JLAC11の公開に当たって	2024/03	2	<a href="#">jlac11release2.docx</a> DOC

### (2) 付番コード表

タイトル	最新更新日	版数	ファイル名
1. JLAC11_要素別コード表	2025/08	23	<a href="#">23jlac11_1.xlsx</a> XLS
2. JLAC11_更新一覧	2025/08	21	<a href="#">21jlac11_2.xlsx</a> XLS
3. JLAC11コード一覧(検査試薬_JLAC10コード付帯)	2025/08	18	<a href="#">18jlac11_3.xlsx</a> XLS

\* JLAC11コード一覧(検査試薬\_JLAC10コード付帯) ファイルの承認番号列については、現在再確認中でございます。そのため、当面の間は同列のご利用は控えていただきますよう、お願い申し上げます。

お問合せ先

検査項目コードに関するお問合せはJLACセンター事務局（jlac-office@idial.or.jp）までお問合せください。

[https://www.idial.or.jp/jlac\\_center.html](https://www.idial.or.jp/jlac_center.html)

# 採番のための準備（最新版ダウンロード）

## 臨床検査項目分類コード第11版（JLAC11）

### (1) 要素別コード表の読み方

タイトル	最新更新日	版数	ファイル名
1. JLAC11_概要	2025/04	2	<a href="#">jlac11overview.docx</a> DOC
2. JLAC11_要素別コード表の読み方	2025/04	7	<a href="#">jlac11element.zip</a>
3. JLAC11の公開に当たって	2024/03	2	<a href="#">jlac11release2.docx</a> DOC

ルール

### (2) 付番コード表

タイトル	最新更新日	版数	ファイル名
1. JLAC11_要素別コード表	2025/06	22	<a href="#">22jlac11_1.xlsx</a> XLS
2. JLAC11_更新一覧	2025/06	20	<a href="#">20jlac11_2.xlsx</a> XLS
3. JLAC11コード一覧(検査試薬_JLAC10コードと一致)	2025/06	17	<a href="#">17jlac11_3.xlsx</a> XLS

コード表

事例

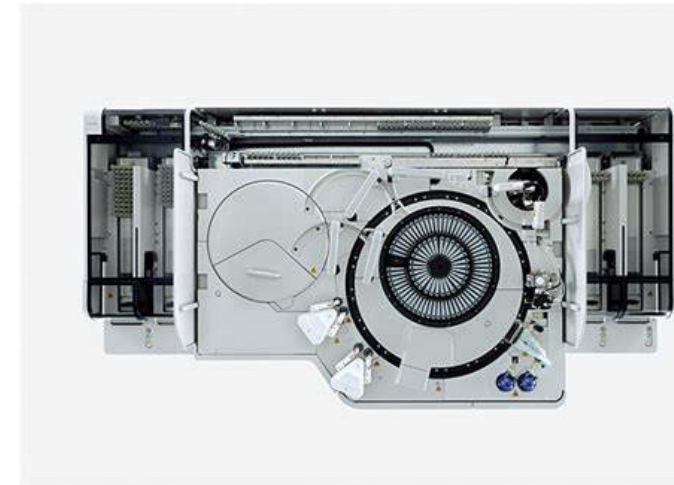
## 第4要素区分：測定法コードの基本ルール

#	コード帯	用途	例示
1	001～500	体外診断用医薬品による	HBs 抗原（V2011）に対して、 CLEIA 法_ルミパルス II HBsAb
2	501～900	検体検査用医療機器による	ヘモグロビン分画（B0002）に対して、 D-100 システム（501）
3	901～979	#1、#2 に依存しない測定法	赤血球凝集反応（定性）
3	980～989	特に、鏡検法による	末梢血液像[鏡検法]（B1030）に対して、 鏡検法（無染色）（980）、鏡検法（染色）（981）
4	990～999	その他	

測定物コード（第 1 要素）に従属した固有コード  
測定法名称は、  
体外診断用医薬品／検体検査用医療機器の販売名称

# 採番事例(生化学・免疫・凝固・尿検査)

1.総蛋白(TP)~26.直接ビリルビン(D-BiL)、  
16、17~20、27~31を除く  
32.APTT~41.CRP  
感染症5項目



# 測定法コード＝体外診断用医薬品の採番事例

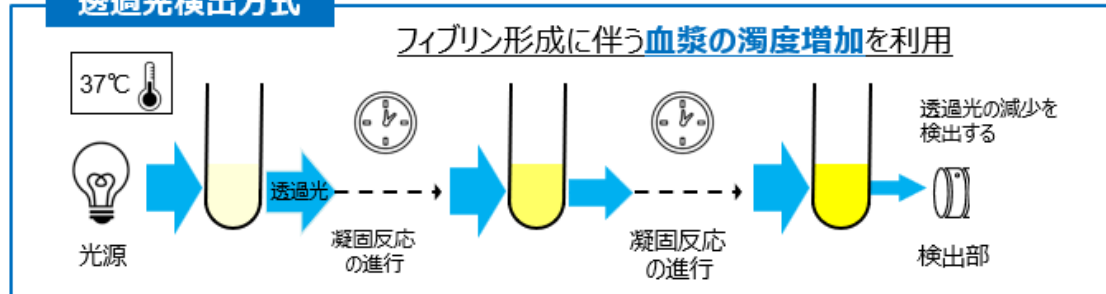
		(1) 測定物コード5桁	(2) 識別コード4桁	(3) 材料コード3桁	(4) 測定法コード3桁	(5) 結果単位コード2桁
4 1	CRP	E3019	0000	250	011	85
感 3	HBsAg 判定	V2010	0000	250	017	02
	HBsAg 測定値	V2010	0000	250	017	F8

測定法コード＝体外診断用医薬品



# 採番事例(凝固)

## 透過光検出方式



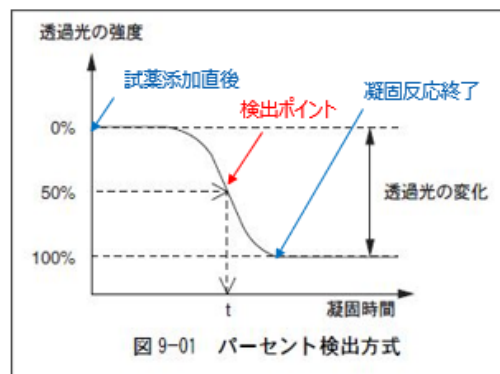
## <パーセント検出方式>

0% : 試薬添加直後の凝固反応前

100% : 凝固反応が終了したとき

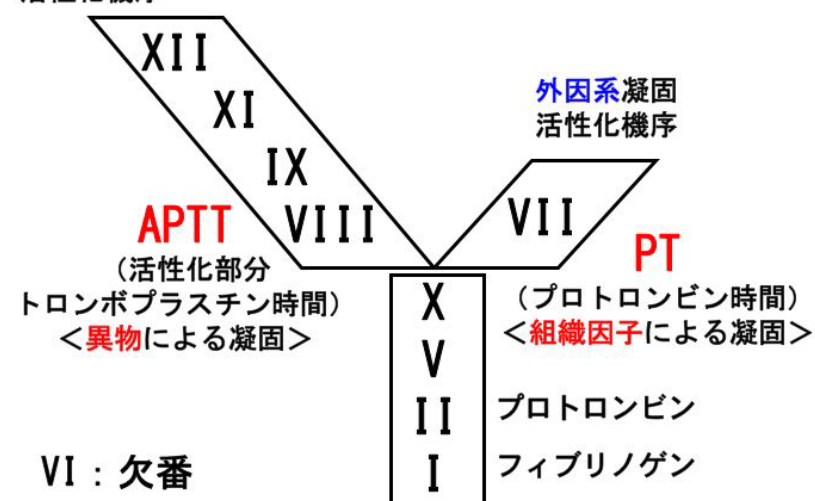
**50% : 凝固速度が高いポイント**

※0~100%の透過光レベルを反応強度 (dH) と呼ぶ



## 臨床検査室での凝固

内因系凝固  
活性化機序



活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) B2003-0000-240-025-F0

プロトロンビン時間(PT)

プロトロンビン時間(PT)-秒

プロトロンビン時間(PT)-比率・測定値

プロトロンビン時間(PT)-活性・測定値

プロトロンビン時間(PT)-INR・測定値

B2006-0000-240-023-F0

B2006-0000-240-023-05

B2006-0000-240-023-12

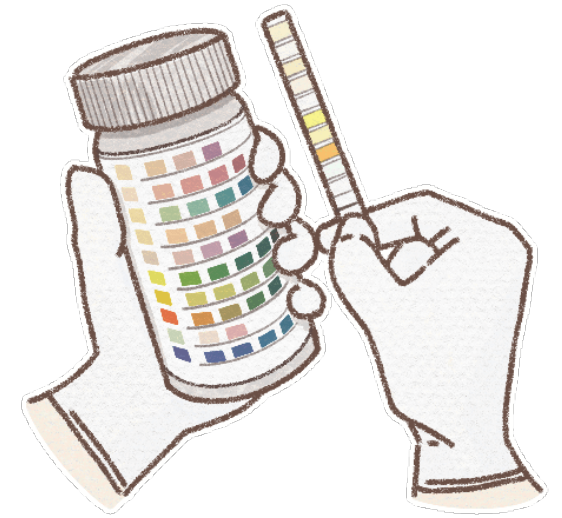
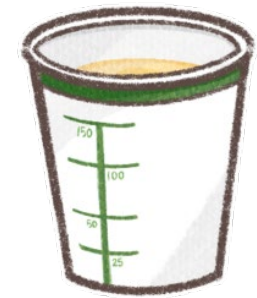
B2006-0000-240-023-61





## 採番事例(尿一般検査)

	色調	A1002-0000-100-017-01
	混濁(濁度)	A1003-0000-100-017-01
	比重[尿試験紙法]	A1004-0000-100-017-01
	pH[尿試験紙法]	A1005-0000-100-017-01
3 6	蛋白[尿試験紙法]	A1006-0000-100-017-02
	アルブミン[尿試験紙法]	A1007-0000-100-017-02
3 7	グルコース[尿試験紙法]	A1008-0000-100-017-02
3 8	潜血反応[尿試験紙法]	A1009-0000-100-017-02
	ウロビリノーゲン[尿試験紙法]	A1010-0000-100-017-02
	ビリルビン[尿試験紙法]	A1012-0000-100-017-02
	ケトン体[尿試験紙法]	A1013-0000-100-017-02
	亜硝酸塩[尿試験紙法]	A1014-0000-100-017-02
	食塩[尿試験紙法]	A1015-0000-100-017-02
	白血球[尿試験紙法]	A1016-0000-100-017-02
	尿中アスコルビン酸[尿試験紙法]	A1017-0000-100-017-02
	クレアチニン[尿試験紙法]	A1018-0000-100-017-02



# 採番事例(尿一般検査)

色調  
 混濁(濁度)  
 比重[尿試験紙法]  
 pH[尿試験紙法]  
 3 6 蛋白[尿試験紙法]  
 アルブミン[尿試験紙法]  
 3 7 グルコース[尿試験紙法]  
 3 8 潜血反応[尿試験紙法]  
 ウロビリノーゲン[尿試験紙法]  
 ビリルビン[尿試験紙法]  
 ケトン体[尿試験紙法]  
 亜硝酸塩[尿試験紙法]  
 食塩[尿試験紙法]  
 白血球[尿試験紙法]  
 尿中アスコルビン酸[尿試験紙法]  
 クレアチニン[尿試験紙法]

尿中蛋白・クレアチニン比(P/C比)[尿試験紙法]  
 尿中アルブミン・クレアチニン比(A/C比)[尿試験紙法]

A1002-0000-100-017-01  
 A1003-0000-100-017-01  
 A1004-0000-100-017-01  
 A1005-0000-100-017-01  
 A1006-0000-100-017-85  
 A1007-0000-100-017-88  
 A1008-0000-100-017-85  
 A1009-0000-100-017-85  
 A1010-0000-100-017-85  
 A1012-0000-100-017-85  
 A1013-0000-100-017-85  
 A1014-0000-100-017-85  
 A1015-0000-100-017-56  
 A1016-0000-100-017-21  
 A1017-0000-100-017-85  
 A1018-0000-100-017-85

A1006-0000-100-017-J6  
 A1007-0000-100-017-87



十一測定設定		USB	設定
測定モード		色調入力の使用	
簡易	詳細	あり	なし
P/C比 A/C比		混濁入力の使用	
P/C比+A/C比		あり	なし
検量線モード			
normal			
OK			

## 採番事例(尿検査)

### 38.尿中アルブミン/クレアチニン比(A/C比)

尿中アルブミン (TIA法)

尿中クレアチニン (酵素法)

尿中アルブミン・クレアチニン比(A/C比)

A1020-0000-100-024-H6

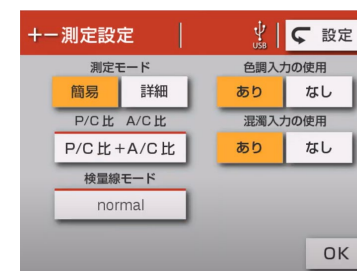
C3002-0000-100-020-85

A1020-0000-100-024-87

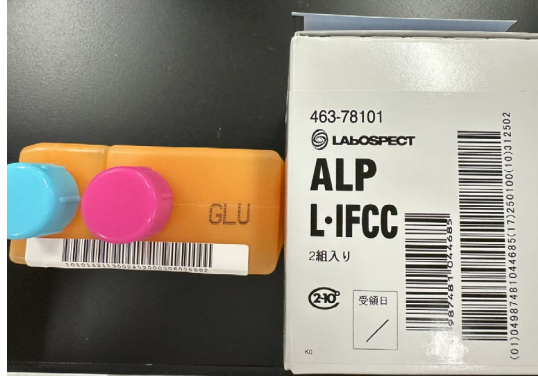


尿中アルブミン・クレアチニン比(A/C比)  
[尿試験紙法]

A1007-0003-100-026-87



# GTINコード・添付文書閲覧アプリ、更にJLAC11連携の可能性



GS1-128 シンボル



商品コード (GTIN) 有効期限 ロット番号

14桁

GTINはGTIN(ジー・ティン)とは、  
Global Trade Item Numberの略称  
桁数の異なる製品コードを14桁で  
統一して表す製品コードの総合名称

## 添付文書閲覧アプリ 「添文てんぶんナビ®」



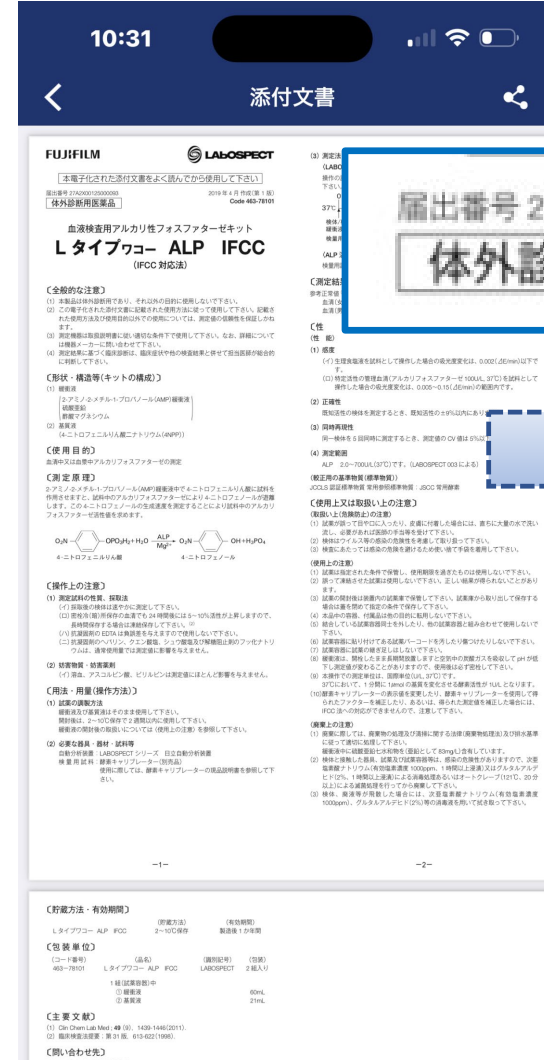
App StoreあるいはGoogle Playから無料でダウンロードできます。



iOS版



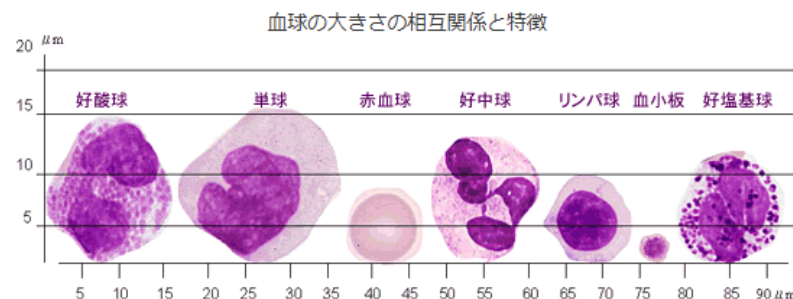
Android版



JLAC11  
C20170000250034F7

## 採番事例 (CBC)

- 27.血算 白血球数
- 28.血算 赤血球数
- 29.血算 ヘモグロビン
- 30.血算 ヘマトクリット
- 31.血算 血小板



末梢血液一般検査

JLAC11

(1) 測定物コード5桁

(2) 識別コード4桁

(3) 材料コード3桁

(4) 測定法コード3桁

(5) 結果単位コード2桁

赤血球数

白血球数

ヘモグロビン

ヘマトクリット

血小板数

B1001-0000-211-566-G5

B1002-0000-211-566-G1

B1004-0000-211-566-55

B1005-0000-211-566-12

B1003-0000-211-566-G1

測定法コード = 医療機器



# 採番ステップ①: JLACコード一覧(18版)の販売名称から候補を探す

販売名称

届出番号

JLAC11

A	B	C	T	BD
販売名称	製造販売会社	承認・認証・届出番号	JLAC10_17桁コード	JLAC11_17桁コード
ヒモスアイエル シンサシル APTT	アイ・エル・ジャパン株式会社	21500AMG00003000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-002-F0
ドライヘマト APTT	株式会社エイアンドティー	20200EZZ00099000	2B020-0000-022-319-01	B2003-0000-240-003-F0
コアグサーチ APTT	株式会社エイアンドティー	21700AMZ00690000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-004-F0
ブラテリン-A オート	協和メデックス株式会社	15100AMY00146000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-005-F0
ブラテリンL II	協和メデックス株式会社	21600AMY00102000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-006-F0
ブラテリンLS II	協和メデックス株式会社	21600AMY00103000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-007-F0
ブラテリンLS II MDA	協和メデックス株式会社	21600AMY00103000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-008-F0
トロンボチェックAPTT	シスメックス株式会社	20600AMZ01267000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-009-F0
トロンボチェックAPTT-SLA	シスメックス株式会社	21300AMZ00523000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-010-F0
トロンボチェックAPTT(S)	シスメックス株式会社	20600AMZ01528000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-011-F0
データファイ・APTT	シスメックス株式会社	16200EZY00424000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-012-F0
データファイ・APTT(FS)	シスメックス株式会社	16200EZY00439000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-013-F0
アクチン FSL	シスメックス株式会社	219ABAMX00057000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-014-F0
パトロンチン SL	シスメックス株式会社	20800AMY10021000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-015-F0

\*JLAC11コード一覧(検査試薬\_JLAC10コード付帯) ファイルの承認番号列については、現在再確認中でございます。そのため、当面の間は同列のご利用は控えていただきますよう、お願い申し上げます。

お問合せ先

検査項目コードに関するお問合せはJLACセンター事務局 (jlac-office@idial.or.jp) までお問合せください。

[https://www.idial.or.jp/jlac\\_center.html](https://www.idial.or.jp/jlac_center.html)

検査室で  
使用している  
試薬名称、  
機器名称が  
わかれば48項目  
は120分程度で  
採番可能

コバス T システム APTT HS	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社	229AAEZ00123000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-022-F0
ドライヘマト APTT SLA	シスメックス株式会社	301ABEZY00005000	2B020-0000-022-311-01	B2003-0000-240-025-F0

7,894行  
約400項目  
(第18版)





# LISにおけるJLAC II 管理の例

LWS

メニュー 依頼管理 ラベル発行 検体到着 画像管理 結果承認 WS作成 未検査状況 到着状況 進捗(グループ) 汎用データ出力 精度管理 問合せ2

化学: LAB0034 プリンタ管理 2023/03/12 丸山 奏恵

お知らせ ロック マスク ウィンドウ サイズ ツール ログアウト

検査項目マスターメンテナンス

検査項目基礎 00001.00

基本材料	材料コード	材料名称	有効開始日
<input checked="" type="checkbox"/>	018	全血	1990/01/01
<input checked="" type="checkbox"/>	018	全血	2014/11/01
<input checked="" type="checkbox"/>	018	全血	2020/03/23
<input checked="" type="checkbox"/>	018	全血	2025/01/31

検査項目名称 総蛋白

略称 T P

報告書用名称 総蛋白

状況グループ 081 LABOSP

材料 018 全血

負荷 000 負荷なし

検査部門 15 化学

感染

有効開始日 2025 / 01 / 31

利用を中止する OFF

基本材料 ON

基本情報

結果関連

結果関連 - 有効範囲

チェックパラメーター

親子検査項目

自社連携

他社連携

コード変換

外部委託先

標準委託先

所要日数

JLAC10コード

分析物 3A010 総蛋白

識別 0000 識別なし

材料 023 血清

測定法 271 可視吸光度法

結果識別 01

ホスト連携対象 OFF

他社システム連携用情報

報告書区分(MegaOak用)

負荷時間種(MegaOak用)

負荷時間ソート順(MegaOak用)

検査中結果をホストで参照可能 OFF

他社前回係数

使用可能 OFF

A 1 C 1

B 1 D 1

JLAC11コード

測定物 C1002 蛋白

識別 0000 識別名

材料 250 血清

測定法 021 測定法名

結果単位 55 g/dL

ホスト連携対象 OFF

ラベルSFX 1 0 0 0 0

JLACコード設定

■ 10対応 ■ 10, 11対応 ■ どちらか一方に対応

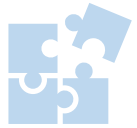
2023年10月にLISベンダー10社にアンケートを行った結果、100% JLACに対応可能との回答であった

閉じる ESC F1 F2 F3 F4 前画面 F5 次画面 F6 前情報 F7 次情報 F8 F9 F10 F11 F12

(標準仕様)

# 医療機関における導入方法

---



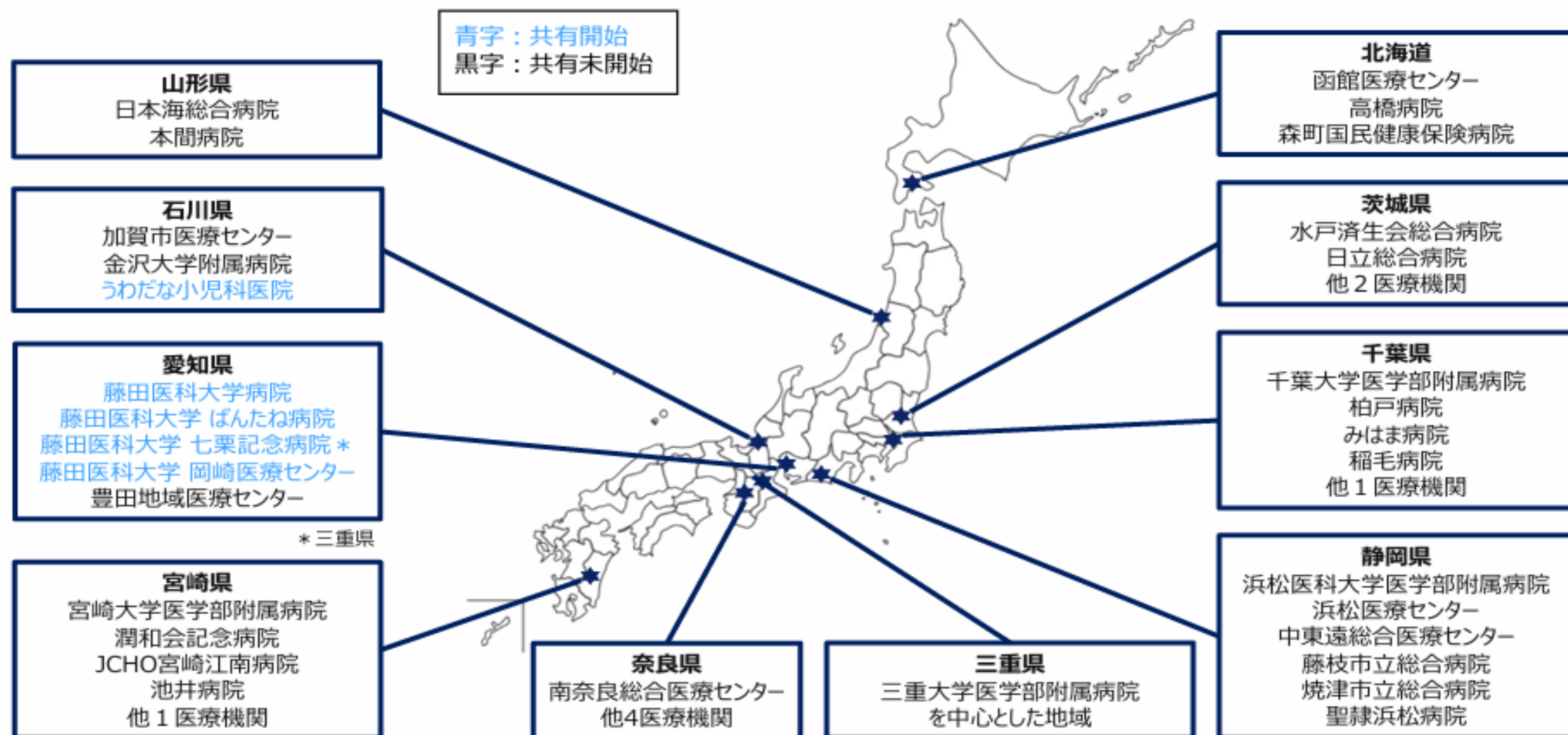
検査室における採番



モデル地区における問題の発見

## モデル事業参加医療機関(予定含む)

令和7年2月3日から、愛知県(藤田医科大学及び関連3医療機関)でモデル事業を開始。他地域も順次開始予定。  
モデル事業内では、全国展開を見据え、システムのみならず現場の運用等について検証を行う予定。



# もう少し早く知りたかった・・・

指定検査 43項目 { 35項目・・・そのままで大丈夫  
8項目・・・単位変換時の対応

8項目の詳細

項目	千葉大学 登録単位	FHIR 単位	単位変換時の対応
赤血球数	10 <sup>6</sup> /μL	「10 <sup>4</sup> /μL」	結果値：入力値*100 単位：「10 <sup>6</sup> /μL」⇒「10 <sup>4</sup> /μL」
血小板数	10 <sup>3</sup> /μL	「10 <sup>4</sup> /μL」	結果値：入力値*0.1 単位：「10 <sup>3</sup> /μL」⇒「10 <sup>4</sup> /μL」
APTT	sec	「s」	「sec」⇒「s」
PT	sec	「s」	「sec」⇒「s」
尿蛋白	(定性値)+(測定値) 例：「4+(300)」	1：－、2：±、3：＋、4：2＋、 5：3＋、6：4＋	「4+(300)」⇒「4＋」
尿糖	(定性値)+(測定値) 例：「4+(300)」	1：－、2：±、3：＋、4：2＋、 5：3＋、6：4＋	「4+(300)」⇒「4＋」
尿潜血	(定性値)+(測定値) 例：「4+(300)」	1：－、2：±、3：＋、4：2＋、 5：3＋、6：4＋	「4+(300)」⇒「4＋」
尿中アルブミン/クレアチニン比 (A/C比)	μg/mg・Cr	単位名：mg/g・Cr	「mg/g・Cr」

えっ！ 何でもっと早く教えてくれないの？・・・

## 指定感染症5項目

### 4項目・・・単位変換時の対応不可

項目	千葉大学 登録単位	FHIR 単位	単位変換時の対応
梅毒STS（定量）	倍	U	単純に単位の変換のみ 結果値は変換なしでよい？ ⇒×
梅毒TP抗体（定量）	倍	U/ml	単純に単位の変換のみ 結果値は変換なしでよい？ ⇒×
HBs抗原（定量）	IU/mL	U/ml	単純に単位の変換のみ 結果値は変換なしでよい？ ⇒単位の変更×
HBs抗体（定量）	mIU/mL	mU/mL	単純に単位の変換のみ 結果値は変換なしでよい？ ⇒単位の変更×

# モデル地区における問題の発見

電子カルテ情報共有サービスの導入に関する  
システムベンダー向け技術解説書

令和 7 年 6 月 1.3.0 版

厚生労働省医政局

## 電子カルテ情報共有サービスの導入に関する システムベンダー向け技術解説書 202506 1.30版

- 感染症5 項目及び検査43 項目の検査結果については、標準化を推進する観点から、本サービスで使用可能な単位と定性値を規定している。
- 本サービスで利用可能な単位・定性値を限定しているため、医療機関等システム/電子カルテシステム等側でこれらとは異なる単位・定性値を使用している場合は、数値を含めて適切に変換してください。

# CBC単位の施設間における違い



血小板  
50  $10^3/\mu\text{L}$



登録

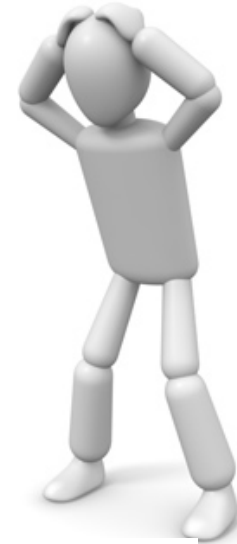


カルテ  
情報共有  
サービス



50 万  
 $10^4/\mu\text{L}$

閲覧



10~1000倍 数値の意味が違ってしまう。  
救急時にヒヤリハット、アクシデントを引き起こす可能性を認識する必要がある。



# 単位の困った！

表 16. 単位・定性値の違いについて

	医療機関等システム側で 使用している単位・定性値(例)	本サービスで 規定している単位・定性値
例 1 感染症検査の定性値	「(+)」 「(-)」	「陽性」「陰性」
例 2 アルブミンの単位	mg/dL	g/dL
例 3 Na、K、Cl、Ca の単位 (電解質関連)	mEq/L	mmol/L
例 4 赤血球数の単位	$\times 10^6 / \mu\text{L}$	$\times 10^4 / \mu\text{L}$
例 5 血小板数の単位	万/mm <sup>3</sup>	$\times 10^4 / \mu\text{L}$

項目名称	基準単位		参照単位と換算係数								
CBC-白血球	G1	$10^3 / \mu\text{L}$	21	/ $\mu\text{L}$	1.E-03	G0	$10^2 / \mu\text{L}$	1.E-01	G6	$10^9 / \text{L}$	1.E+00
CBC-赤血球	G5	$10^6 / \mu\text{L}$	G3	$10^4 / \mu\text{L}$	1.E-02				F9	$10^{12} / \text{L}$	1.E+00
CBC-血小板	G1	$10^3 / \mu\text{L}$	G3	$10^4 / \mu\text{L}$	1.E+01	G5	$10^6 / \mu\text{L}$	1.E+03	G6	$10^9 / \text{L}$	1.E+00

日本だけ

標準化を推進する観点から...

臨床検査業界が考える標準化に逆行している

$10^4 / \mu\text{L}$ の表記は日本特有のものです。国際的には、SI単位系の接頭語（キロ、ミリなど）が10の3乗を基本にしていることから、2014年の共有基準範囲の公開以降、 $10^6 / \mu\text{L}$ 、 $10^3 / \mu\text{L}$ の単位変更を推進し、浸透している状況

国際的には、白血球、 $10^9 / \text{L}$ 、赤血球 $10^{12} / \text{L}$ 、血小板 $10^9 / \text{L}$ の使用が多い

# 感染症5項目の困った！

感染症5項目は換算不可にもかかわらず、単位が網羅されていない。

その結果、  
データを電子カルテ情報共有サービスに感染症項目データを登録できない  
医療機関がある！

換算できない＝登録できない

IU/L、IU/mL

S/CO

表 14. 感染症 5 項目で規定している単位・定性値

	感染症 5 項目		FHIR 項目名称	単位/定性値	単位もしくは定性値
1	梅毒 STS	1	梅毒 STS(定性)	定性値	「陽性」「陰性」
		2	梅毒 STS(定量)	単位	U
2	梅毒 TP 抗体	1	梅毒 TP 抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」「判定保留」
		2	梅毒 TP 抗体(陽性コントロール比)	単位	COI
		3	梅毒 TP 抗体(半定量)	単位	倍
		4	梅毒 TP 抗体(定量)	単位	U/mL
3	HBs	1	HBs 抗原(定性)	定性値	「陽性」「陰性」
		2	HBs 抗原(希釈倍率)	単位	倍
		3	HBs 抗原(吸光度)	単位	吸光度
		4	HBs 抗原(定量)	単位	U/mL
		5	HBs 抗原(陽性コントロール比)	単位	COI

## おわりに

---

JLAC11は、データ利活用可能な標準コードとして設計されています。  
JLAC11の体外診断用医薬品（医療機器）の粒度であること・単位  
そのものがコードに含まれる利点が活かされることに期待します。

**厚労省、JSLM（項目コード委員会）等からの情報で、  
提示した内容が変更になる可能性があることをご理解ください。**